

感染症の流行・発生状況について
2026年第26週(6月22日～6月28日)診断分

● 県全体の警報・注意報

警報	なし
注意報	なし

● 各保健所の警報レベル・注意報レベル

警報レベル	注意報レベル
南部: 流行性角結膜炎 八重山: 手足口病/流行性角結膜炎	

● 2026年第26週 南部保健所管内の全数報告について ※先週までの訂正追加報告も含む

《二類感染症》 ・結核: 3件	《五類感染症》
--------------------	---------

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

1) 麻しん(はしか)
県内では今年2例の麻しんの報告がありました。
全国的に麻しんが発生しており、全国では第26週で6例の報告がありました。
・旅行先の感染状況を把握しましょう。
・帰宅後は潜伏期間の5～14日(最長21日)は体調を確認しましょう。
・38℃前後の発熱、咳、鼻水、結膜充血、発疹などの症状がある場合は、医療機関に電話をした上で受診をしてください。
・自身のワクチンの接種回数を確認しておきましょう。
MRワクチン定期接種年齢のお子様(1歳、小学校入学前の1年間)は早めに接種しましょう。

2) 手足口病/RSウイルス感染症
南部保健所管内では、警報・注意報は発令されていませんが、沖縄県の報告者数が大幅に増加しております。日頃から感染対策を心掛けましょう。

3) 流行性角結膜炎
南部保健所管内において、2026年第26週において定点当たり7.33人(報告数22人)となっており引き続き警報発令中です。
流行性角結膜炎は、眼瞼(まぶた)の浮腫、流涙(なみだ目)、耳前リンパ節の腫脹などを特徴とする目の感染症です。目からの分泌物を介して感染するため、分泌物の適切な処分、手洗いの励行、タオルや目薬など目に接触するものの共用は避けましょう。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

疾病名	定点区分	23週	24週	25週	26週	26週	23週	24週	25週	26週	26週
		6/1	6/8	6/15	6/22	(定点あたり報告数)	6/1	6/8	6/15	6/22	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	35	34	19	33	(0.75)	21	13	6	17	(1.42)
咽頭結膜熱	小児科	11	18	10	8	(0.33)	1	3	3	0	(0.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	16	21	15	14	(0.58)	5	0	1	4	(0.67)
感染性胃腸炎	小児科	102	81	100	76	(3.17)	41	50	57	31	(5.17)
水痘	小児科	9	3	16	7	(0.29)	7	1	13	4	(0.67)
手足口病	小児科	44	53	69	104	(4.33)	15	15	5	13	(2.17)
伝染性紅斑	小児科	0	0	2	0	(0.00)	0	0	1	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	9	5	10	8	(0.33)	2	2	1	0	(0.00)
ヘルパンギーナ	小児科	10	24	36	25	(1.04)	6	10	15	17	(2.83)
流行性耳下腺炎	小児科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	33	31	31	32	(3.56)	24	23	21	22	(7.33)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	2	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	0	2	1	(0.14)	0	0	0	1	(1.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	1	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	38	32	88	100	(4.17)	12	10	26	29	(4.83)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	9	6	10	13	(0.30)	1	2	0	1	(0.08)

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。